

恵庭市長定例記者会見（R2.12.15）

お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日は、第4回定例会が終了しましたので、議会を終えての所感、並びに今後予定する事業などについて発表させていただきます。

今議会におきましては、追加議案3件を含む20件の議案について審議いただきました。

その主なものといたしまして、新型コロナウイルスに関連した「令和2年度一般会計補正予算」などがありましたが、その全ての議案についてご承認いただきましたことに、まずもって感謝いたします。

また、一般質問や各常任委員会の中で、市政の各般にわたる課題に関し、ご提言をいただきました。

これら議会からのご指摘を大切にしながら、さまざまな施策の推進を図って参ります。

それでは、本日の発表内容を述べさせていただきます。

まず1点目は、「新型コロナウイルス感染症対策」についてであります。

本市におきましては、2月21日に「恵庭市新型コロナウイルス予防対策連絡会議」を設置し、4月8日からは「恵庭市新型コロナウイルス感染症対策本部」に切り替え、対策等の協議を重ねているところであります。

北海道内の感染は10月中旬以降拡大し、北海道では10月28日に警戒ステージを「2」に引き上げましたが感染拡大が止まらず、11月7日には警戒ステージ「3」、17日には札幌市内に限定して警戒ステージ「4」相当の取り扱いとする決定がされております。現在もクラスター（感染者集団）の発生など、全道各地の感染が収まらず、集中対策期間を年明けまで延長し対応しているところであります。

恵庭市においては、4月20日に初の感染者が確認され、しばらくは低調に推移しておりましたが、10月に6名、11月には38名の感染者が発表されており、市内の高等学校では初のクラスターが発生するなど予断を許さない状況が続いています。



イベントにつきましても、来年1月に予定していた「新年交礼会」の中止や「新成人のつどい」の延期など、この1年を通して多くの事業に影響が出ております。

市としましては、感染防止策はもとより、生活相談窓口の設置、子育て世帯や事業者に対する市独自の経済対策など、様々な支援策を実施し継続的かつ積極的に取り組んで参りました。これまでも対策として各部署で行ってきた事業等につきましては別紙資料のとおりとなります。本日は、今後新たに実施する事業について説明いたします。

まずは、恵庭市PCR検査センターの設置についてであります。11月以降、恵庭・千歳・北広島市を所管する千歳保健所管内での感染が拡大していることから、市内にPCR検査センターを近日中に開設いたします。設置場所については公表できませんが、「ドライブスルー方式」で1日20件程度の検査を実施する予定です。設置により対象者が速やかに検査を受けられる環境整備を行うことで、感染拡大の抑制が期待されます。

続いて、経済対策についてであります。

新型コロナウイルスの感染拡大による、北海道の警戒ステージが「3」に引き上げられたことなどにより、年末年始の忘・新年会時期に大きな影響を受けている飲食事業者を対象とする支援金を考えております。

要件は ・市内で営業していること

・11月、12月、1月のいずれかの売り上げが、前年同月比もしくは前月比で10%以上減少していること

・北海道スタイルを実践していること

としており、早急に議会を開いていただき、ご審議いただきたいと考えております。

感染の拡大に伴う、市内飲食店への影響に対しスピード感をもって対応して参ります。今後も状況を判断し支援策について考えて参りたいと思っております。

また、ひとり親世帯に対する臨時特別交付金については、今月25日に支給することとしております。

新たに実施する事業については以上となりますが、全国的に新規感染者が増加しており、依然として予断を許さない状況にあります。感染拡大防止と地域経済の立て直しに向け、今後はこれらの事業を速やかに実施するとともに、状況によっては更なる対策の検討など、市民生活及び経済活動への支援を引き続き行って参りたいと考えております。

2点目は、「東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン登録」についてであります。

本年2月に、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局を通じて、札幌市開催となった競歩競技のグアテマラ共和国競歩選手のホストタウン候補地として、ホストタウン登録の準備を進めてまいりましたが、同年3月に東京オリンピック・パラリンピックの延期が決定し、4月に予定しておりましたグアテマラ共和国オリンピック委員会の事前視察と合意調印式が中止となりました。

延期に伴いまして、9月以降、グアテマラオリンピック委員会とオンライン等による協議を重ね、11月13日に事前合宿地を恵庭市とする旨の基本合意書について、グアテマラ共和国オリンピック委員会と締結することができ、12月2日付けでホストタウンとして内閣官房のオリンピック・パラリンピック推進本部事務局に正式登録されました。

今後、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、選手等との交流には新たな制約が課せられる可能性がございますが、グアテマラ共和国のホストタウンとなることで、市民の異文化への理解や国際意識を高め、東京オリパラ開催の機運の醸成を図るとともに、グアテマラ共和国の歴史・文化・社会等の理解を深める絶好の機会であると捉えています。

先日、本市でグアテマラセミナーの収録を行い、グアテマラ現地とリモートでつなぎ、アギーレグアテマラオリンピック委員会会長と交流いたしました。本セミナーの様子は来月中旬にYouTube配信される予定です。ご覧ください。

おもてなしの心を持って、恵庭市全体で歓迎できるように、盛り上げていきたいと考えています。

3点目は、「企業版ふるさと納税」についてであります。

企業版ふるさと納税は、正式名称を「地方創生応援税制」といいまして、最大で寄附額の9割が法人関係税より軽減される仕組みになっております。本市におきましては、11月に第1号の寄附を受領したところであります。

今後さらに厳しい財政状況が続く中で、財源対策として重要な制度と考えておりますが、財源対策だけではなく、企業との新しい出会いによる未来の可能性を広げるためにも、今後、市民の皆様のご協力も得ながら恵庭市全体で取り組んで参りたいと考えております。

寄附をしていただく企業にとりましても、地方創生に貢献する企業としてのイメージアップや、恵庭市との新たなパートナーシップの構築、或いは、SDGsを通じた企業価値の向上などのメリットもございます。

また、事業の推進方法につきましては、企業リストに基づくセールスや、民間事業者を活用したセールス、或いは、職員によるセールスなどの他、市民によるセールス

も検討しておりますので、寄附していただける企業がございましたら、是非ご紹介いただきたいと思います。

よろしくお願ひ申し上げます。

以上で、私からの発表は終わらせていただきます。

引き続き、教育長からの発表があります。

教育長から発表

続いて、「恵庭市新成人のつどいの延期」についてであります。

来年1月10日に開催を予定しておりました「令和2年度恵庭市新成人のつどい」につきましては、かねてから新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から慎重に検討を重ね、式典のみとして午後からの1日2回の入れ替え制による開催を計画して参りましたが、道内の急速な感染拡大の状況に改善が見られず、新成人のつどいの開催が更なる感染拡大の要因となってしまう可能性を否定できないことから、熟慮の結果、新成人による実行委員会の了承を得たうえで、本市におきましても令和3年5月2日(日)に開催を延期することとし、対象となる新成人の方へはがきやホームページにてご案内いたしました。

旧友との再会を楽しみにしていた新成人や保護者の皆様、晴れ着・理美容室等の関係各位におかれましては、大変ご迷惑をおかけいたしますが、今は、一日も早く新型コロナウイルス感染症を終息させることを最優先するべきであるとの決断に至ったものであります。

なお、延期後につきましては、会場を増やし午後からの1日4回の入れ替え制にするなど、更なる感染対策の強化に努めて参ります。

以上、4項目について説明させていただきました。

詳細については、各担当からお聞きください。

●質疑応答

「新型コロナウイルス感染症対策」について

(記者) 経済対策の飲食事業者への支援の金額はいくらか？

(市長) 臨時議会で示すが、1店舗15万円を予定。約250件で総額3750万円程度を考えている。

(記者) いつから受付するのか？

(市長) 21日予定の臨時議会終了後早々に年内から受付予定。対象はチェーン店を

除く飲食店とする。

(記者) これまでの商品券事業などは、検証を行った上で事業実施という流れだったと思うが、今回の飲食事業者への支援金については、比較的早い段階のこの時期に対策を打ち出した理由と期待される効果は？

(市長) 年末年始に忘・新年会が全くできない状況の中なので、飲食店への影響が大きい。これまでに小規模事業者事業継続支援金と営業緊急支援金を実施して、どの業種が厳しいのかについてリサーチできているので、年末年始の宴会が少なくなっている飲食店の支援に早急に取り組もうと考えている。

(記者) コロナ禍において、市内の飲食店で店を閉めたという情報はあるのか？

(市長) 今のところ廃業等は聞いていない。

(記者) ひとり親世帯に対する臨時特別交付金についての概要について教えていただきたい。

(副市長) 国が行っている交付金の追加型で、一子目には5万円、二子目以降には3万円の加算であり、全額国の財源で対応する。補正予算を通していただければ25日には各該当者の口座に振り込めるように準備している。

「東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン登録」について

(記者) グアテマラと恵庭市との関係について元々何かあったのか？

(市長) 特にないが、グアテマラは競歩が強く、札幌で競歩とマラソン開催が決まった時に、現地で事前合宿をしたいという要望がグアテマラのオリンピック委員会から内閣府に届けられていたのだろうと思う。そうした中、札幌周辺でどうかという話が2月頃に恵庭にあり調整してきた。これからの付き合いになるかと思われるが、グアテマラはコーヒーが有名ということもあり、市内のコーヒー焙煎業者もグアテマラとの交流を持っており、交流している市民もいる。今回のホストタウン登録とは直接的な関係はないが、こうしたつながりを生かして交流を深めていければと考えている。

その他

(記者) 千歳市役所で新型コロナウイルス感染症の感染者が増加しているが、恵庭市役所での対策はどのようなことをしていて、今後どうしていくのかを教えてください。

(総務部長) 既に実施している部署もあるが、職員の事務机にアクリル板の仕切りを作り、課内感染拡大の防止を図る。また、庁内の換気やアルコール消毒等の感染予防の庁内放送、市民向けにもマスク着用の啓発、公共施設内に集中対策期間のポスターを掲示して対策を行っている。

(市長) 職員同士での会食は11月17日から自粛しましょうという呼びかけを行っている。

(記者) 少人数でもか？

(副市長) 家族のみに限定している。今までも対策はとってきたが、各自治体の感染状況をみると他人事ではないと思っている。濃厚接触者と判断される前でも、家族等にPCR検査が必要とわかった時点で、在宅勤務や自主的に休暇をとってもらい、接触を避けてきた。どこまで効果があるかといわれると難しい部分もあるかもしれないが、職場内での感染が心配されるので、できる限り対面でやり取りをしないような仕掛けをつくらうと考えている。窓口における来庁者との間には、既にアクリル板を設置した対策をとっているが、職場内での職員同士の「密」な状況は、回避できないためアクリル板による仕切りを取り付けようと準備している。

(記者) 最近大手の企業を含めた企業誘致で実績を上げていると思いますが、企業側からは恵庭のメリットをどのように受け止められているのか？ また、今後の見通しは？

(市長) 恵庭を選ぶ条件はいくつかあると思うが、大きいのは地理的条件が優れているということだと思う。大都市の札幌に近く、新千歳空港や苫小牧港にも近く、道東道で道東への輸送や道南への輸送も可能である。他には比較的地価が安く、労働力の供給の面でも比較的良く、製造業では水が良いことなどがあげられる。その辺を総合的に考えていただいで進出していただいていると思われる。今後については、市の持っている土地はないが、まだ使っていない土地を持っている企業があり、条件によっては売却を検討しているところもあるので、情報を集めて進出を考えている企業に問い合わせ、進出を進めていければと思う。

(記者) 恵み野のイトーヨーカドー跡地の動きについては？

(市長) 残念ながら確かなものは聞いていない。しかし、恵み野の住宅団地の人は減っていない。住み替えが進み、中古住宅に若い人が入るなど、そういった意味では跡地の使い道は十分にあると思うので、情報を集めながら働きかけをしていきたい。

(記者) 企業進出について、今年が特に多いのか？ 今年が多いとしたら市で今までと違った方法で誘致をしてきたのか？

(市長) 一番大きいのは土地区画整理事業で作った戸磯南工業団地を売り出したということ。そこに久原本家、せき、横浜冷凍が決まり、明治は他企業が持っていた土地を民と民で売買して決まった。その他にも、地崎道路や丹波屋などありますが、民と民の間に市が入って紹介している。それが今年多くなってきたところです。

(記者) 雇用面でも効果は出ているのか？

(市長) 今はまだ操業していないので出ていないですが、これから効果が出てくると思われる。コロナ禍ですので今は落ち着いているが、これまでは人手不足ということがありました。札幌から恵庭に移った工場などでは、札幌から恵庭に人が入ってくるということもあった。

(記者) 先月、はなふるがオープンし、これから「緑化北海道フェア」が開催されると観光客が多数訪れると想像されるが、「緑化北海道フェア」が終わった後に現段階で企画していることはあるか？

(市長) イベントということでは、現段階で考えているものはないですが、民間がある場所を使ってイベントをやりたいということが出てくることを期待している。「緑化フェア」を開催すると数十万人規模の観光客が訪れるので、場所を注目してもらい、例えば北海道庭巡りやイベントの中に組み入れてもらうことなども考えられる。さらに、恵庭には「えこりん村」や「ふれらんど」もありますので、近隣の自治体も含めた大きな相乗効果が生まれるきっかけとなればと考えている。